



ジャパン・ラム グループ

JAPAN LAMB GROUP

【製造元】



有限会社 ジャパン・ラム

<http://www.japan-lamb.jp/>

本社：〒720-2111 広島県福山市神辺町上御領 1711-6
TEL：084-965-0574 FAX：084-965-0450

北海道牧場：〒080-0344 北海道河東郡音更町字万年西一線 27-2
TEL：0155-42-4240 FAX：0155-42-4261

千葉事業所：〒262-0043 千葉県千葉市花見川区天戸町 1333-4
TEL：043-306-8650 FAX：043-306-8651

【販売元】



株式会社 ジャパン・バイオシーラム

<http://www.japan-bioserum.jp/>

本社：〒720-2111 広島県福山市神辺町上御領 1711-6
TEL：084-965-0891 FAX：084-965-0450

東京営業所：〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-6-11 古川ビル 202
TEL：03-6206-8769 FAX：03-6206-8763

【系列会社】



株式会社 ジャパン・バイオメディカル

<https://www.japan-biomedical.jp/>



株式会社 ジャパン・プロカト

問い合わせ ▶ E-mail: sales@japan-bioserum.jp



ジャパン・ラム グループ

JAPAN LAMB GROUP



【製造元】
農地所有適格法人
有限会社 ジャパン・ラム



【販売元】
株式会社 ジャパン・バイオシーラム

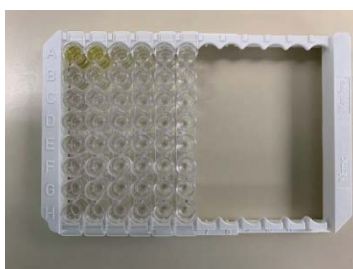
■ 抗体作製受託サービス

■ ウサギ ポリクローナル抗体作製受託サービス

- A スタンダードプラン** 日程表提出
- B 計画書・報告書プラン** 試験計画書 試験報告書 日程表提出
- C 記録書プラン** 飼育記録書 試験計画書 試験報告書 日程表提出

免疫間隔、接種抗原量、接種方法および接種部位など、お客様の要望に合わせて自由に組み立てられます。お客様と相談のうえ、最適な免疫方法をご提示させていただきます。

ペプチド合成から免疫、抗体精製までご対応できます。
※感染性、毒性、危険性を含む場合はお断り申し上げます。



抗血清の力価測定につきまして
ELISA法 ベッカー法 オクタロニー法などの力価測定を行うことが可能です。
測定結果を試験報告書として提出することができます。

■ ウサギ ポリクローナル抗体のバルク生産サービス

北海道牧場では最大 3,000 匹のウサギが飼育可能な施設にてポリクローナル抗体の大量製造を承っております。ウサギの数は、長年にわたり研究された自家繁殖技術で常時調整されており年間の抗血清の大量製造計画にも対応することができます。また、数匹のご注文の場合でも使用するウサギを選別するための血清サンプルを 10～20 匹程度提供することが可能です。(採血料金・送料など有償とさせていただきます。)



- 健康証明書の発行
- 試験計画書の発行・試験計画書の最終報告書の発行
- 飼育状況・免疫記録・採血記録などオプションで実施報告書の作成にも対応しております。
- 業務委託契約・秘密保持契約にも対応いたします。

■ ポリクローナル作製受託サービス

ヒツジ・ヤギから
ニワトリ・モルモット・マウス・ラットなど



■ 免疫用抗原合成サービス

- ・ペプチド抗原
- ・天然抗原
- ・リコンビナント抗原

ターゲットとする、ペプチド抗原・天然抗原・リコンビナント抗原を弊社にて準備することも可能です。

■ 抗体精製サービス

弊社にて作製したポリクローナル抗体、あるいはモノクローナル抗体の受託精製を承ります。また、抗体精製のみの受託も承っております。

項目

- 硫酸精製
- イオン交換精製
- ゲルろ過精製
- ProteinA/G を用いた精製
- 抗原-Affinity を用いた精製
- IgG → F(ab')₂
- IgY 精製
- 抗体の HRP 標識
- 抗体のビオチン標識
- その他

容量・純度保証など詳細な試験計画書を作成することが可能です。

試験計画書・最終報告書・業務委託契約報告書保管のオプションをご用意しております。

抗体のバルク製造から精製まで一貫して弊社にて対応することが可能です。



■モノクローナル抗体の腹水化サービス

マウスの腹水化サービスを承っております。
研究用の少量スケールから、大量製造の腹水化まで承っております。

BALB/c による腹水化

ヌードマウスによる腹水化

指定品種にも対応



マウスを使用した様々な受託サービスをお受けいたします。

■モノクローナル抗体作製サービス

ハイブリドーマ（2株）作製：納期：約6ヶ月

Step1

マウス免疫～抗体価測定

- ・BALB/c マウス 3 個体に免疫
- ・4 回免疫後に抗体価を測定 (ELISA) → 融合か追加免疫かを相談

Step2

細胞融合～陽性クローン確認

- ・細胞融合 → ELISA にてスクリーニング
- ・陽性クローンの高力価細胞を 10 クローン獲得
- ・陽性クローンの培養上清を送付することも可能

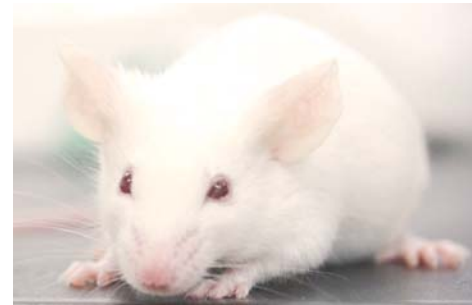
Step3

モノクローナル抗体生産ハイブリドーマの樹立

- ・Step2 で得たクローンより、2 クローンをクローニング
- ・ハイブリドーマを 2 株樹立
- ・樹立したハイブリドーマと、その培養上清を送付

※ Step2 の取得クローン数、ならびに Step3 のクローニング数はご希望により数の変更が可能です。
(オプション価格)

※感染性、毒性、危険性を含む場合はお断り申し上げます。



■国内産血液製品

ヒツジ・ウマ・ヤギ・ブタ・ウサギ・ニワトリ・モルモット・ガチョウ・シチメンチョウ・マウス・ラット
など取り扱いがございます。

50ml 100ml など PET ボトルに入れ小分け販売をしております。

脱繊維血液・溶血液

- ヒツジ・ウマ・ウサギ・その他動物
- ・細菌検査用寒天培地の添加物などに使用されております。



保存血液・全血液

- ニワトリ・モルモット・シチメンチョウ・ガチョウ・ヒツジ・ウサギ・その他動物
- ・HA 試験・HI 試験・補体結合反応試験などに使用されております。



血清・血漿（ろ過滅菌のご要望承ります）

- ヒツジ・ウサギ・ウシ・モルモット・ブタ・その他動物
- ・非特異反応の吸収、特定成分の抽出、培地の添加物などに使用されております。



さまざまなご要望をお受けいたします。

■海外産血液製品

ヒツジ・ウマ脱繊維血液などの輸入を手掛けています。

※培地製造原料のバルク供給対応をいたします。



■その他動物血清、血漿、肉

「健康な動物」に由来する血清および血漿・肉を販売しております。
輸出の際など、健康な動物に由来する原料であったことを証明したい場合に有効です。
証明書の発行を行っております。

Crystal-tag による組換えタンパク質発現受託サービス

特許第 4604231 号

Crystal-tag による大腸菌由来の組換えタンパク質生産

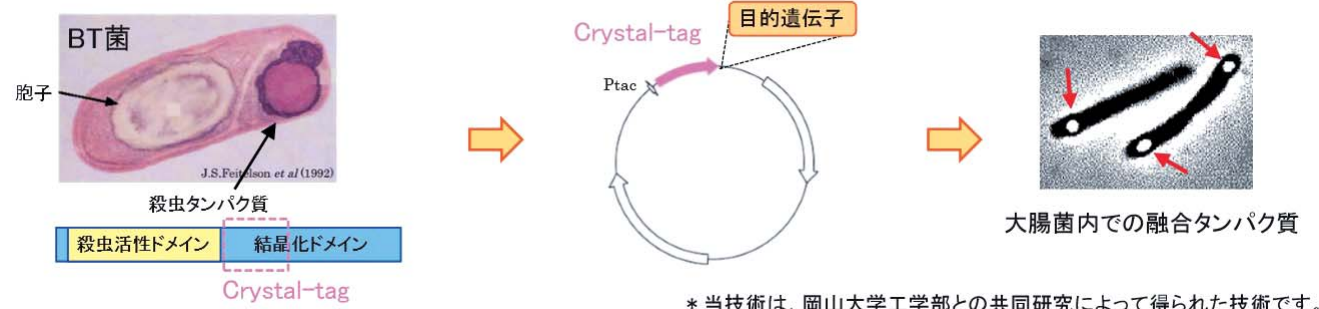
His-tag などと同様に、タンパク質末端に Crystal-tag を結合するだけで、タンパク質発現量の増加を実現。従来法では生産できなかったタンパク質も、Crystal-tag を付加することで生産可能に！

Crystal-tag とは？

グラム陽性土壌細菌 (Bacillus thuringiensis :BT 菌) は殺虫タンパク質を結晶体として生産します。当社では、BT 菌に由来するポリペプチドを用いて、融合タンパク質の結晶体形成を促す画期的なポリペプチドタグ (Crystal-tag) を開発しました。目的タンパク質を結晶封入体として発現させることにより、大腸菌での発現が困難であったタンパク質も効率的且つ大量に発現させることが可能となりました。本技術によって得られる結晶封入体は安定な構造を成すため、宿主のプロテアーゼなどによる分解も受けづらく、また不活性の状態に蓄積するため、発現タンパク質が宿主に対して毒性を示さないことも特徴として挙げられます。

みんなの場合に おすすめ

- ・大腸菌では生産が困難なタンパク質 (細胞毒性、分解、凝集を生じやすい) を発現させたい。
- ・タンパク質の生産性、純度を向上させたい。
- ・大量のタンパク質を入手したい。



* 当技術は、岡山大学工学部との共同研究によって得られた技術です。

【発現受託の流れ、納期 (100ml 培養分の場合)】

Step1 発現ベクター構築～発現確認 (～6週間)

- ・発現ベクターへの挿入
- ・シーケンス確認
- ・SDS-PAGE およびウェスタンブロットングによるタンパク質の発現確認

Step2 タンパク質の Tag 精製 (～3週間)

- ・結晶融合体の回収および変性剤による可溶化
- ・tag 精製
- ・SDS-PAGE による精製の確認及び純度測定

Step3 Crystal-tag の切断～目的タンパク質の単離 (～4週間)

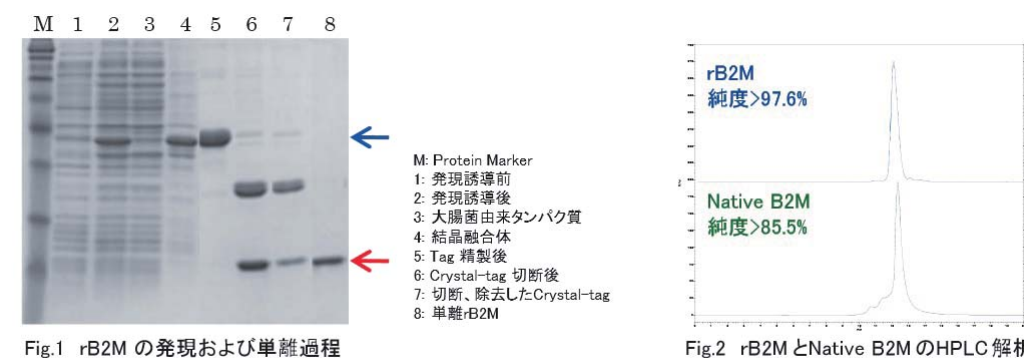
- ・透析によるタンパク質のリフォールディング
- ・Crystal-tag の切断
- ・目的タンパク質の単離精製
- ・SDS-PAGE による精製の確認および純度測定

Crystal-tag による組換えタンパク質発現の実施例

心筋梗塞診断薬として需要の高いクレアチンキナーゼサブユニット (CKMB) のうち CKB を本技術により結晶封入体として発現させた。その結果、赤矢印で示す部分に、大量の発現タンパク質が確認された。大腸菌を破碎後、遠心分離により結晶封入体を不溶性分画として回収した。次いで、結晶封入体を可溶化して His-tag 精製した結果、高純度を示すタンパク質が回収された。

M: 分子量マーカー 1: 発現誘導前 2: 発現誘導後 3: 可溶性分画
4: 不溶性分画 5: His カラム非吸着分画 6: His カラム洗浄分画
7: His カラム溶出分画

診断薬原料としてのβ-2-ミクログロブリン (rB2M) の生産



1st 精製では 80% 以上の純度、2nd 精製で 95% 以上の純度の rB2M を回収。発現量は、Crystal-tag を結合しないで発現させた場合と比較して、約 5 倍量の増加を実現。HPLC 解析、抗体を用いた抗原性の測定より、Native B2M と同等の性状を有することを確認。※当社検証データになります。

診断薬原料・その他物質の生産実績

- ・Cystatin C (腎機能障害マーカー)
 - ・Myoglobin (心筋梗塞マーカー)
 - ・Ferritin (貧血マーカー)
 - ・HRV3C Protease (タンパク質切断酵素)
 - ・B2M (腎機能障害マーカー)
 - ・CKM CKB (心筋梗塞マーカー)
 - ・TpN15、17、47 (梅毒抗原)
 - ・CRP (炎症性マーカー)
- ※現在開発中です。

Crystal-tag を用いた臨床診断薬原料の共同研究、開発に興味を持たれるパートナー企業様を募集しております。

FBS(Fetal Bovine Serum) ウシ胎児血清

・オーストラリア産、ニュージーランド産、
中南米産、欧州産など取り扱いがございます。

NBCS(New Born Calf Serum) 新生仔ウシ血清

・より安価な血清、継代培養向きです。

その他動物血清

・ウマ血清からマウス血清にいたるまで大動物から小動物
国内産・海外産まで幅広くご提供できます。

価格表をご確認ください。

* 2年間無償預かり

(但し 10 本以下の発送については送料をいただきます。)

* 無償サンプル提供

(但し 10 本以上の購入予定に限ります。)

* 選べる原産国

(原産国から選べます。)

たいじ君 (BVDV ウイルス・抗体フリー ウシ胎児血清 FBS)

BVDV(Bovine Viral Diarrhea Virus) はウシ胎児血清 (FBS) に混入する可能性がある代表的なウイルスです。本品は、原料となる粗血清を徹底管理して BVDV ウイルスフリー、BVDV 抗体フリーを保証しています。各項目の陰性を証明する検査成績書の発行が可能です。家畜の衛生試験などにご利用下さい。

○検査項目 (各項目の陰性を保証)

1. マイコプラズマ (培養法)
本血清を 10% 添加した培地でのマイコプラズマ分離試験
2. BVDV ウイルス (PCR 法)
RT-PCR による BVDV 遺伝子検出試験
3. BVDV 抗体 (ウイルス中和試験)
BVDV Nose 株および KS86-1 株を使用したウイルス中和試験

○その他生化学項目

- グルコース、アルブミン、尿素、AST、 γ GT など
- タンパク質組成： γ グロブリン、アルブミン含有量など

大人になったたいじ君 (BVDV ウイルス・抗体フリー)

従来の製品 (たいじ君) は FBS (ウシ胎児血清) を原料に製造をしていた為、原料費が高価になっておりました。

そこで、成牛の血清を原料にして BVDV・BVDV 抗体の検査を、実施・選抜した血清を開発致しました。

ぜひサンプルチェックを!



お問い合わせください。



国産ウシ由来細胞培養用血清

NeoSERA®



国産細胞培養用 ウシ血清

ジャパン・バイオメディカルのウシ由来細胞培養用血清 NeoSERA® は、医薬品・再生医療等製品向け原材料として開発された、厚生労働省生物由来原料基準の規程を満たす 100% 国産の細胞培養用ウシ血清です。

原材料

NeoSERA® は、国際獣疫事務局 (OIE) にて国際的な牛海綿状脳症 (BSE) の安全性格付けの最上位である「無視できる BSE リスク」の国と認定された日本を産地とし、厚生労働省関係牛海綿状脳症対策特別措置法施行規則 (平成 14 年厚生労働省令第 89 号)、および EU における成牛ドナー血清に関する規程 (EMA/410/01rev. 3) を参考に 36 ヶ月齢未満の成牛から定期的に採取される血液を原料としています。

製造工程

NeoSERA® は、その製造工程の多くが閉鎖系であり、コンタミネーションのリスクを極力排除しています。途中プールされる血清を攪拌し、滅菌膜フィルターにてろ過の後、クリーンルームにてボトル分注しています。今後、更なる品質向上を目指し、全ての製造工程を原薬 GMP (ICH Q7) 準拠に移行予定です。

医薬品・再生医療等製品対応

NeoSERA® は、当初から医薬品・再生医療等製品の材料対応を考慮して、開発されました。ウシ胎児血清と異なり NeoSERA® は獣医による定期的な健康確認を受けた、当社が管理する成牛から採取された血液を原料として一貫製造されており、完全なトレーサビリティを実現しています。また、ボトル分注後に米国 USDA 規則 9CFR § 113.420、および欧州 EMEA 規則 EMEA /CVMP/743/00 に従い、ウイルス不活化を含む滅菌を目的に 30kGy 以上の γ 線照射を実施しています (ウイルスクリアランス試験実施済)。このように NeoSERA® は、生物由来原料基準 (平成 26 年 9 月 26 日厚生労働省告示 第 375 号) の規程を満たす全く新しい安全で高品質な国産細胞培養用血清です (医薬品医療機器総合機構 再生医療等製品材料適格性確認書 取得済)。

株式会社ジャパン・バイオメディカルはジャパン・ラムグループの一員です

■ 実験用動物・動物臓器

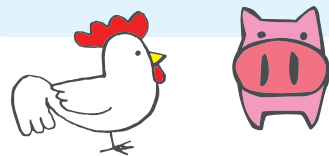
取扱動物

ヒツジ・ヤギ・ブタ・ウサギ・モルモット・マウス・ラット・ニワトリ・その他

取扱臓器

脳・眼球・心臓・肝臓・肺・膵臓・腎臓・脾臓・副腎・大腸・小腸・卵巣・子宮
睾丸・皮膚・その他

海外産の場合は健康証明書などを添付した臓器の提供も可能です。



■ 実験用妊娠ヒツジ

ホルモン処理により発情誘起し、季節に関係なく妊娠させることができ実験に必要な日齢にて納品いたします。見積につきましては、運賃・早期妊娠鑑定（37日齢）・プラウ日指定など価格はその都度の見積になります。

■ 卵黄液

食品の細菌検査用培地に必要な卵黄液の製造・販売を行っています。

■ その他 動物由来製品

・IgG（ウシ・ウマ・ヒツジ・ウサギ・マウスなど）・BSA・ウシヘモグロビン・動物の毛

※動物に関わる様々な製品を対応できます。

■ TP 抗原の販売（梅毒検査試薬原料）

弊社では、ウサギの生体内で TP 菌を培養し TP 抗原の製造・販売を検討しております。



TP 菌とは

Spirochete 科 Treponema 属 Pallidum 種 Pallidum 亜種
Treponema. Pallidum sub. Pallidum を略して、「TP」と言います。

TP 菌は直径 0.1～0.2μm、長さ 2～6μm、6～14 pitch 構造は莢膜で包まれていて、細胞壁、細胞膜を持つグラム陰性菌です。光学顕微鏡では暗視野でのみ見る事ができます。ウサギ生体内で増殖することは古くから知られており、事実 100 年以上 TP 菌の培養はウサギ生体内で行われています。

弊社では、ウサギの自家繁殖・免疫の技術を応用し、TP 菌の培養から TP 抗原の精製まで行います。

■ ヒツジ業界を守る為に！ PrP 遺伝子検査サービス

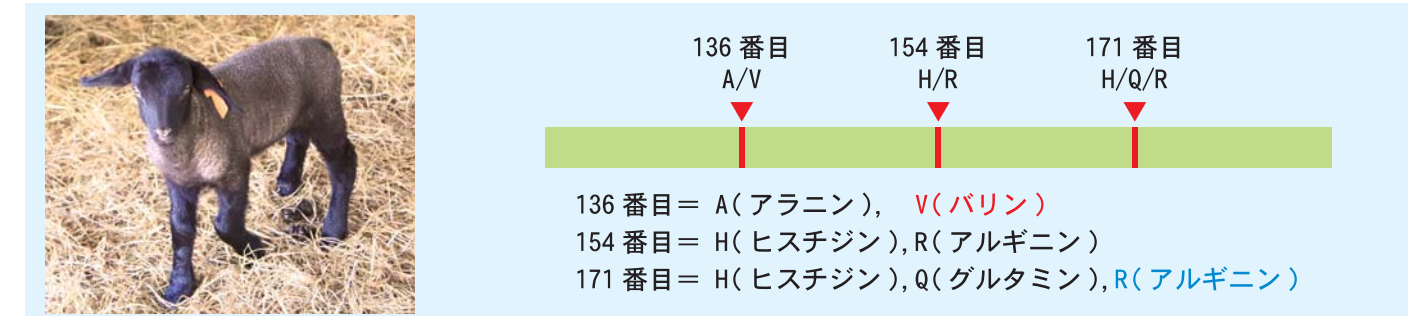
PrP 遺伝子とは？

ウシの狂牛病（BSE）やヒツジのスクレイピー（Scrapie）発症と深く関わる遺伝子です。ヒツジでは、この遺伝子を調べることによってスクレイピーを発症しにくいヒツジ（抵抗性型）、（非感受性型）と発症のリスクが高いヒツジ（感受性型）とに分類できることが広く知られています。海外、特に欧州諸国ではヒツジの PrP 遺伝子検査が必須とされています。

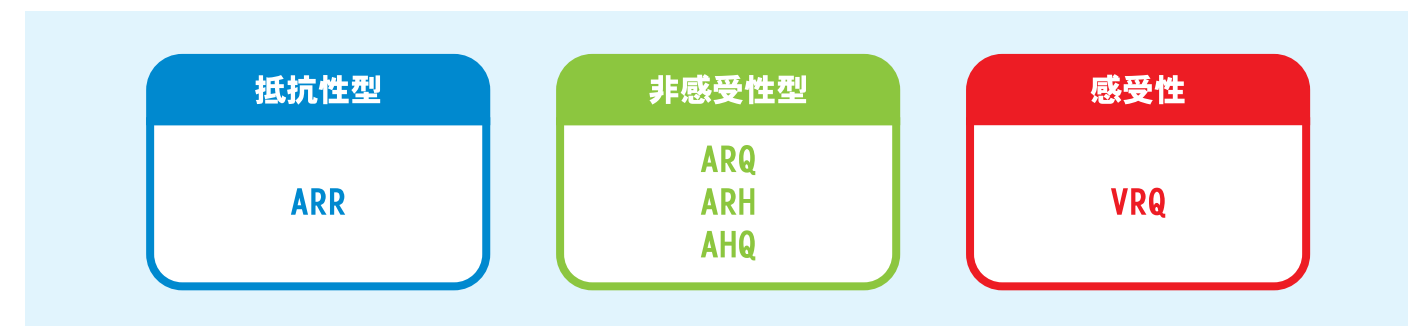
弊社では、日本のヒツジ業界の発展を目指し、PrP 遺伝子検査サービスを展開しております。食肉として出荷する際や繁殖時のヒツジの選択、または他の牧場への販売、譲渡などの際にスクレイピーの発症しにくいヒツジを選んで出荷することができます。

PrP 遺伝子検査の概要

- ①ヒツジの血液中の細胞より全遺伝子を取り出し、その中から PrP 遺伝子を調べます。
- ②PrP 遺伝子中の 3 カ所の違いを確認し、合成されるアミノ酸を調べます。



- ③アミノ酸の組み合わせにより、スクレイピーに対して抵抗性型、非感受性型、感受性型の 3 パターンに分類します。



真空採血管セット … 1 本から / 遺伝子検査 … 1 頭から

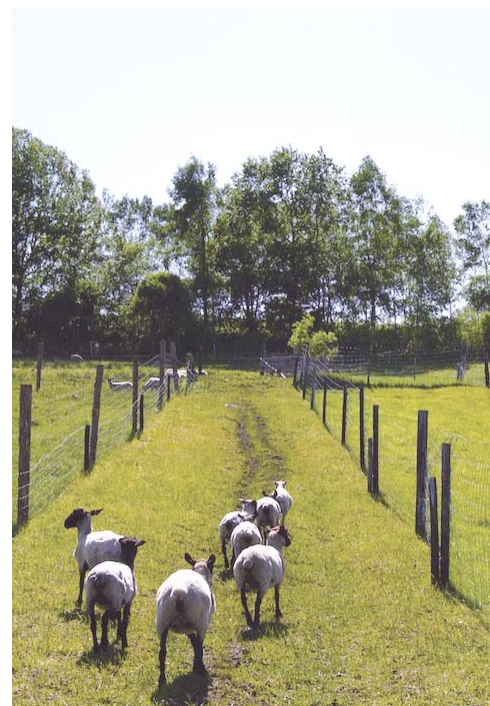
※遺伝子検査をご依頼頂き、結果をご連絡させて頂いた後、遺伝子検査証明書を発行いたします。

■ 羊肉の生産販売

北海道十勝地方にある、弊社の北海道牧場で生まれ育ったヒツジのお肉です。
 広大な敷地でのんびり、ストレスなく育っているから、丈夫で健康なヒツジ達です。
 はじめに真っ白な脂と赤色の肉の綺麗なコントラストに食欲をそえられると思います。
 まずは調味料を何も付けずに食べてみてください。
 きっと今まで食べた羊肉のイメージが変わりますよ！



濃厚飼料を与えて飼育していますので、
 牧草主体で育てた輸入品に比べ、さっぱりした中にもコクのある独特の味わいが
 自慢です。



■ お米の生産販売

**ジャパン・ラムでは、おいしいお米を
 広島県福山市で生産しております！**

本当に心から「おいしい」と言えるお米が食べたい。

安全で信頼できるところから購入したい。

ジャパン・ラムでは、耕作から精米まで自社一貫管理による、
 安全・安心でおいしい「ジャパン・ラム米」をお届け致します！



お米は毎日食べるもの。

だから・・・
 食卓を囲む家族の笑顔が思わずこぼれるような、
 そんな「おいしい」お米を提供したい。
 私たちは田んぼの耕作、田植え、稲刈り、精米など
 全ての工程を自社で行っています。
 しかも、有機農法で減農薬だから、身体にも優しい。
 一度口にしたら、きっと虜になる美味しさです。



玄米を 30 kg単位で販売いたします。(10 kg単位で対応可能です。)
 精米後ですと、約 27 kgで販売致します。
 9月から予約開始。(10月未までに予約いただきますと、年内にお届けいたします。)

■ 本社（広島県福山市）

さまざまな動物種を飼育しております。

取扱い動物

ウサギ・モルモット・ラット・マウスなど
ガチョウ・ニワトリ・ヒヨコなどの鳥類

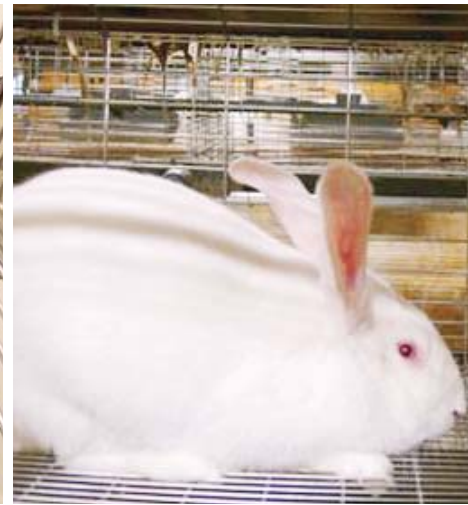
特徴

- ・採血・分注や臓器の採取
- ・モノクローナル抗体産生ハイブリドーマの樹立や6,000匹の飼育できるマウス室も完備し、モノクローナル抗体の腹水化サービス
- ・抗体の作製と精製サービスの対応
- ・ニワトリの卵を使った、培地の原料に必要な卵黄液の製造

さまざまな問い合わせに対応した委託サービスを行っています。



マウス



ウサギ



ガチョウ



お米の生産もしております。

■ 北海道牧場（北海道河東郡）130,000㎡

広大な大地でヒツジ 600頭・ウサギ 2,500匹を飼育

取扱い動物

ヒツジ・ウシ・ウマ・ヤギ・ウサギなど
ガチョウ・シチメンチョウなどの鳥類

大動物の採血・臓器採取から最大3,000匹のウサギが飼育可能な施設にてポリクローナル抗体の大量製造にも対応しており、TP抗原の製造・精製しております。

- ・PrP 遺伝子検査サービス

※ヒツジの個体管理飼育にも対応しております。



自家繁殖技術で常時調整されており、年間計画の製造にも対応しております。

■ 千葉事業所（千葉県千葉市）

- ・タンパク質発現受託
Crystal-tag（特許第 4604231 号）による大腸菌由来の組換えタンパク質の製造
- ・各種血清の製造
- ・成田空港へのアクセスがよい為、輸入血液の物流拠点の役割や血液分注作業を行い、首都圏へ血液を供給しております。



P2 対応の実験室

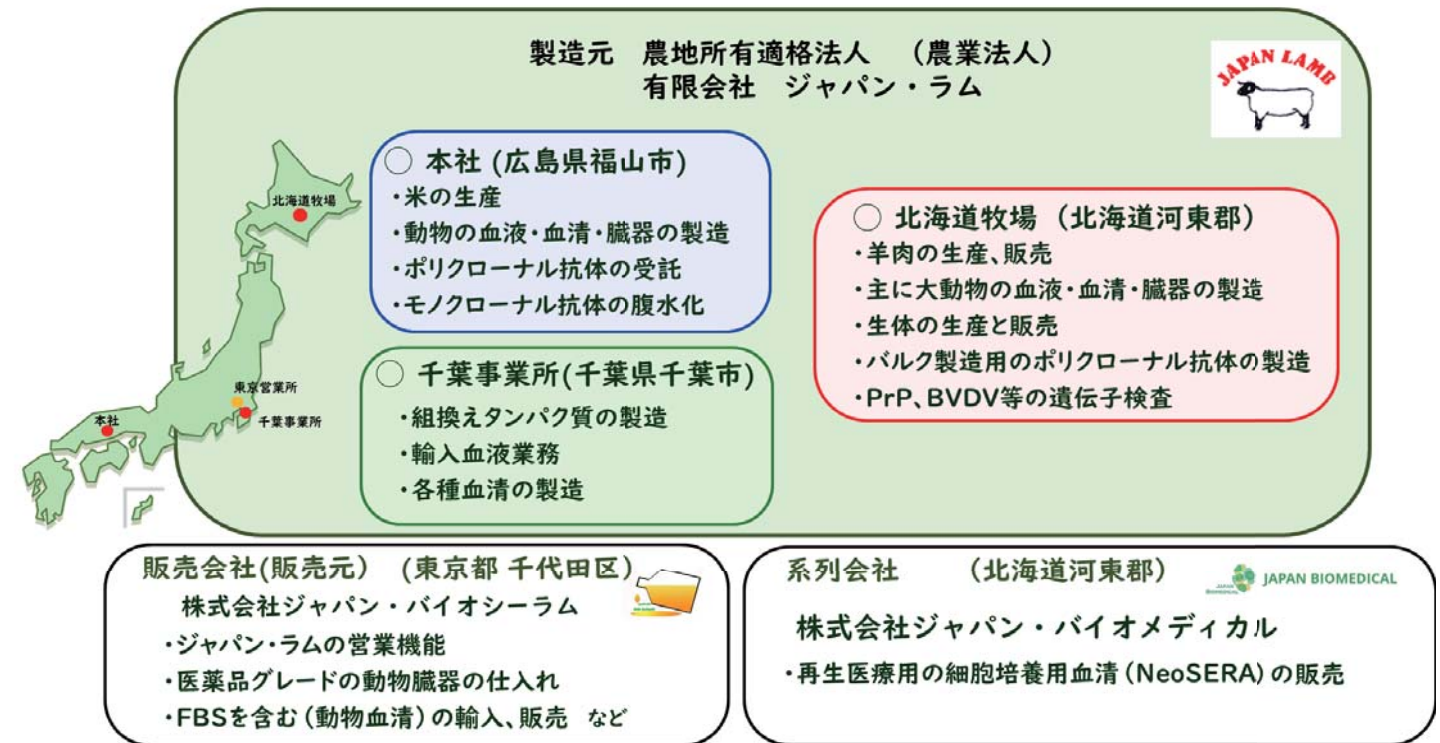


安全キャビネット
クリーンベンチ
オートクレーブ
HPLC 装置

リコンビナントタンパク質の製造に必要なバイオ・分析機器があります。

拠点

ジャパン・ラム グループ



ジャパン・ラムグループの事業展開

○ 臨床診断薬原料の事業拡大

- ・診断薬原料としての血液、組換えタンパク質、抗体等のシェア拡大を目指す。

○ 受託業務（研究、精製、製造等）の業務拡大

- ・様々な抗原や抗体の作製、または精製、製造を受注しシェアの拡大を目指す。
- ・製造に関しては、信頼できる製品を提供するために品質管理体制を徹底できるように、社員の意識の向上を図る。

○ 再生医療への事業拡大

- ・国産ウシ由来細胞培養血清で、再生医療分野のシェア拡大を目指す。



代表取締役社長
須藤 稔太

■ 設 立 1986年2月26日
■ 資本金 900万円

我々の会社の原点は、現本社のある広島県福山市神辺町にあります。当初は法人化せず、ヒツジの飼育、自家繁殖で育ったラム肉の販売、米作（田植、稲刈など）の補助といった地域農業の発展を支えるところから始まりました。

その後、ヒツジをはじめとする各種動物が診断薬原料として需要があることを知り、法人化（現 農地所有適格法人 有限会社ジャパン・ラム）させ、診断薬市場への参入を開始しました。

現在は大型動物（ウシ、ウマ等）から小型動物（ウサギ、マウス等）まで多品種の動物を飼育しており、広島だけでなく、北海道（河東郡音更町）にも130,000㎡の牧場を有し、国産製品の供給を行っているほか、千葉（千葉市花見川区）でも事業所を運営し、AU, NZ, USAといった海外の協力農家からも定期的に製品を輸入し、国内の安定供給に努めております。

2004年には子会社として株式会社ジャパン・バイオシーラムを発足し、現在では東京（千代田区）に営業所を構え、ジャパン・ラムの総代理店としての業務を行っております。

また動物の免疫応答を利用した抗体作製サービスでは、お客様からの委託製造はもちろん、弊社独自特許技術で作製したリコンビナントで、抗体まで作製することも可能です。

ジャパン・ラムグループは、生物のかけがえのない命に価値を見出し、稲作、羊肉生産の「食」と、診断薬原料供給の「医」といった、ヒトが生きて行く上で必要なものづくりを支え、実現できる企業グループであると自負しております。グループ社員一人一人が価値ある資源を考え、一丸となることで今後もグループ発展と社会貢献に努めていきますので引き続きご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

2021年2月吉日
須藤 稔太

経営理念

私たちは、価値ある農業を実践します。
私たちは、医療の発展に必要な原料、製品開発を提供します。
私たちは、品質に価値を生み出し、満足を育てます。
私たちは、利益を創出し、社会、お客様、社員を幸せにします。

行動指針

JLG 四方良（社会、顧客、会社、社員）
・ 社会の医食同源（医農原料となり四方の良薬になろう）
・ 顧客の信頼品質（価値創出をして四方を満足させよう）
・ 会社の健全経営（資源集約させて四方を安定させよう）
・ 社員の自己実現（自己探求をして四方を明解にしよう）



会社概要

沿革

- 1980年 須藤薫雄会長が農業者と認められ、本格的にヒツジを飼育し始める
ヒツジを飼育しながら採血をし、地域の休耕地に野菜・稲作を始める
- 1986年 2月26日に農業生産法人（現：農地所有適格法人）有限会社ジャパン・ラム設立
- 1993年 北海道帯広市に分室開設
- 1994年 広島県農業士に認定
- 1996年 北海道牧場開設
- 1999年 ニュージーランド営業所開設（ニュージーランド政府血液輸入許可BBP認定取得）
- 2004年 系列会社 株式会社ジャパン・バイオシーラム設立
FBS（ウシ胎児血清）の販売を開始
- 2005年 東京農業大学内に（旧）バイオ事業部開設
- 2007年 大腸菌を利用したタンパク質生産技術研究を開始（岡山大学と共同研究開始）
- 2008年 岡山大学インキュベーター内に（旧）バイオ事業部開設
- 2012年 岡山大学（旧）バイオ事業部と東京農業大学（旧）バイオ事業部を埼玉県川口市に統合
- 2014年 千葉県千葉市に（旧）バイオ事業部を移転
- 2016年 2月25日 30周年記念式典
本社近郊に農業倉庫新築
（旧）バイオ事業部を千葉事業所に名称変更
- 2017年 系列会社 株式会社ジャパン・バイオメディカル設立
- 2018年 東京都千代田区に（株式会社ジャパン・バイオシーラム）東京営業所開設
- 2021年 代表取締役社長交代 須藤 薫雄 取締役会長に就任
須藤 稔太 代表取締役社長に就任

主な取引先

培地メーカー・ワクチンメーカー・臨床検査薬メーカー・製薬メーカー・大学・公官庁
全国の試薬代理店など

事業内容

- 米・麦の生産
- 羊肉を中心とする食肉の販売
- 実験用妊娠ヒツジの生体の販売
- 研究用・検査用・国産動物の血液・血清・臓器の製造と販売
- 研究用・ワクチン用・輸入血清の販売
- 研究用・検査用のポリクローナル抗体、モノクローナル抗体の受託免疫
- リコンビナント製品の製造委託及び製品の開発

社員数

役員を含め61名（2021年1月現在）

